



【第363回】

株式会社M. T. C

企業コード：116018733 法人番号：6150001014796
 所在地：奈良県大和高田市大谷126-2
 TEL：0745-22-1410 創業：1968年7月
 代表：森 久次氏 設立：2004年4月
 事業内容：ユニットバス、トイレ、自動車部品、スチール家具、
 建築部品などの金属プレスおよびNCベンダー
 (ブレーキプレス) 部品の製造
 HP URL：http://www.mtc-nara.co.jp/

今回紹介する(株)M. T. Cは、創業51年を迎える金属プレス加工業者である。現在、奈良県内トップクラスのプレス機保有台数を誇り、設備や作業品質はもちろんのこと、優れた工程改善能力に裏打ちされた提案営業が評価され、大手住設メーカーをはじめ鋼製家具メーカーなどからユニットバス・デスク・棚などの金属部品加工を請け負っている。単純加工であるがゆえに、薄利を強いられる非常に厳しいプレス加工業界において、独自の積極的な取り組みを展開する当社を紹介したい。

「高単価・低価格」の提案営業が最大の強み

創業者の父から会社を引き継いだ時の当社は家内工業の域にあった。「安さばかりを売りにしては、いくら数量をこなしても中々儲からない。それなのに『早い・正確・安い』のモットーを前面に押し出して営業するのはおかしいと感じていた」と、森社長は当時を振り返る。「安い」を売りにしては儲からず、いつか会社は倒産してしまう。事業継続のためには、安定した利益を確保する必要があると認識した同氏は、単発プレス加工からスピーディーに製品の加工ができる順送プレス加工にシフト。小さい頃から社内内外の金型職人と接し磨かれてきた発想力を活かして、金型設計から多段制御システムを用いた独自の加工技術を確立した。また、独自に加工技術を入れた新カシメ法を確立するなど積極的な創意工夫によって、プレス回数を減らすと同時に加工単価の引き上げに取り組み利益率を改善したほか、総加工賃(価格)を引き下げることができたことによって、得意先とのWin-Winの成果に繋がり、当社の最大の強みとなった。

補助金や各種認定への積極的なチャレンジ

2012年度に始まった国の「ものづくり補助金」では過去7年間で6回もの採択を受け、2016年には県内企業として初めて国の「経営力向上計画」の認定を受けている。これらの書類作成は、ものづくり補助金において初回の申請こそ専門家の支援を受けたが、森社長の負けず嫌いの性格もあって、それ以降の補助金申請や認定取得は基本的に自らが行っている。



代表の森久次氏

「昔は文書を書くのが大嫌いな現場人間だったが、申請書作成に一生懸命取り組むうちに書くことが大好きになった」と同氏は笑う。「これらの作業を通じて、自社の業務を文字や数値で可視化でき、会社の全容把握と新規事業の立案の面でもとても役立つ」という。

これからの展開

森社長は「これからは、働きやすい職場づくりに努め、人材を育てることが企業としての継続と雇用の維持につながる」と話す。自分の仕事を後進に譲ることで人材の成長を促す方針であり、現在は息子である専務が中心となり、データに基づく営業を行っている。「営業時に製造スピードや生産企画の空き状況などのデータを営業が把握することにより、見積もりや納期の回答が迅速に行え、受注確度の向上に繋がっている」とのこと。創意工夫で乗り越えてきた51年。補助金などを活用して充実した設備を揃え、高単価・低価格の提案営業の流れも整えられた。これからは、成長した次世代が創意工夫を継承し、近畿経済産業局との連携による県内第1号の「知財ビジネスマッチング事業」新製品開発にも取り組み、今後の事業を発展させていく。

(取材・文/辻岡辰晃)